

資源循環型施設建設に係る 関連事業について

令和7年2月

上田市 資源循環型施設建設関連事業課

Agenda

① 周辺整備事業

② 搬出入道路整備事業

③ スケジュール(案)

01 事業の概要

本事業の位置づけと目的

資源循環型施設の整備

2つの協議の柱

安全・安心な施設の実現

- 環境影響評価
- 施設基本計画

地域のまちづくり

- 地域課題の解決
- 周辺整備事業（本計画）

周辺整備事業の実施

資源循環型施設建設を契機とした
「地域価値の向上」

魅力的で住みやすいまちづくりの実現

行政の抱える課題の解決

老朽化した施設の更新や維持管理費縮減など

事業概要

周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

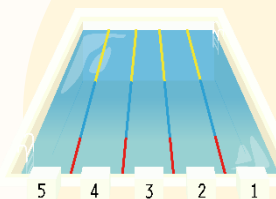
整備の方向性

新しいごみ焼却施設の整備
(資源循環型施設)



余熱の活用

資源循環型施設建設を契機とした
「魅力的で住みやすいまちづくり」の実現



余熱を活用した地域交流拠点施設*1の整備
(アクアプラザ上田の再整備+余熱の有効活用)

余熱を利用したプール設備に加えて、
幅広く利用してもらえる施設を目指します。



公園緑地の整備

圏域住民が集い、憩える空間の
創出を目指します。

*1…以下、「余熱利用施設」という。

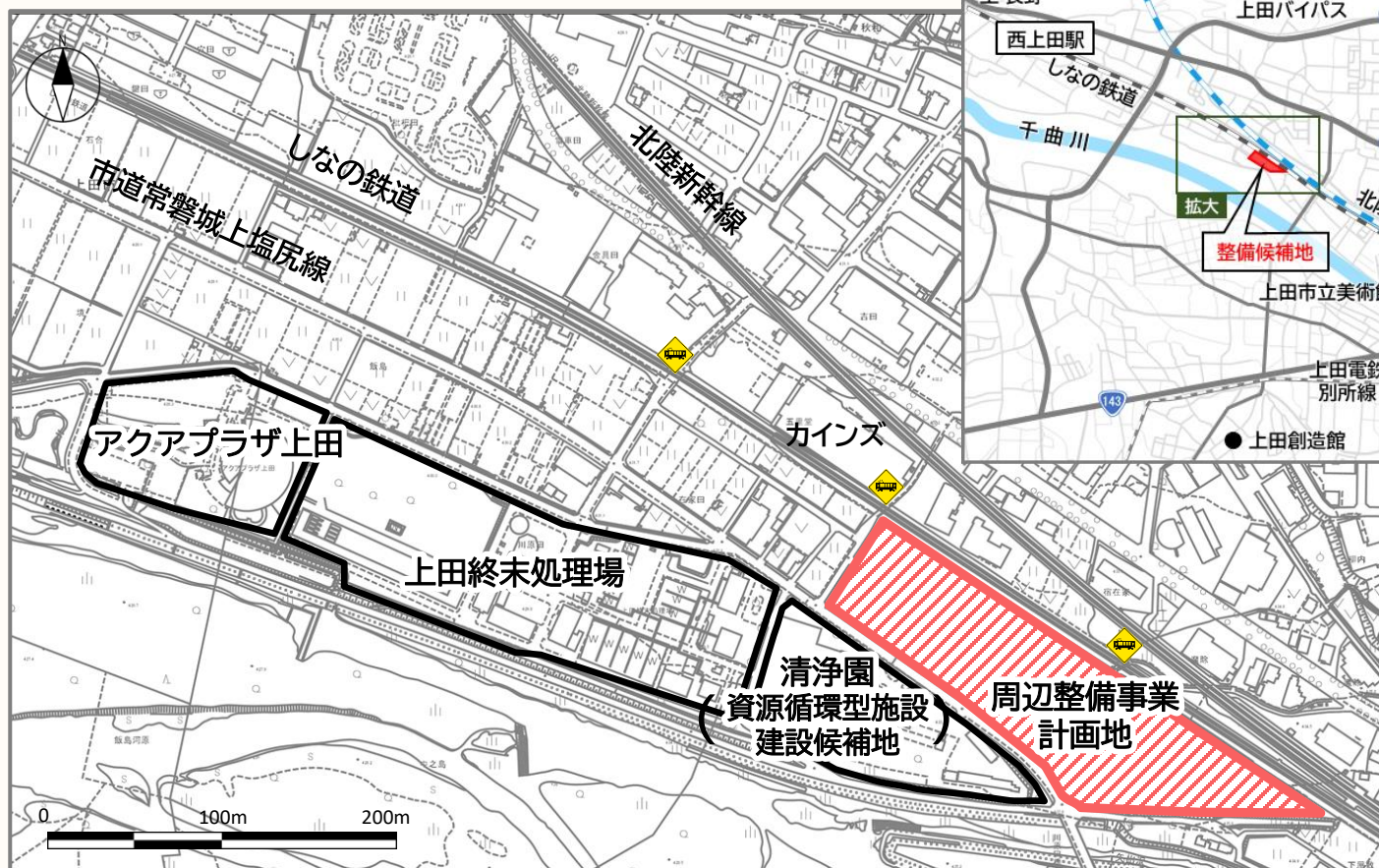
整備計画地

計画地

資源循環型施設建設候補地北側隣接農地（上田市常磐城及び秋和）

敷地面積

約3.6ha



周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

02 基本計画(案)

計画の位置づけ



| | 項目 | 内容 |
|--------|-----------------|---|
| Step 1 | 整備方針 住民意向の把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業の発案 ・地域住民、市民ニーズの把握（ワークショップ、アンケート） |
| Step 2 | 基本計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の基本的な計画 ・計画概要の公表、市民意見の聴取（パブリックコメント） |
| Step 3 | 基本設計 実施設計 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画に基づき、施設像の具体的計画を決定 ・施工に向けた発注書類の作成 |
| Step 4 | 建設工事等 | <ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施 |

周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

整備方針

＼ 地域の新たな価値を創り出す、まちづくりの拠点整備 ／

ここから 未来を育む（はぐくむ）

子どもたちを育む

1年を通じて、子どもたちや家族が
気軽に遊べる場

健康を育む

様々な運動やスポーツで
体を動かすことができる場

つながりを育む

多くの人が集まり、楽しめる場

環境を育む

資源循環型施設とその余熱を活用し、
自然と都市の調和を創出する場

「地域価値の向上」と「行政の抱える課題の解決」

周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

地域住民、市民ニーズの把握

基本計画策定にあたり実施した、地域住民ワークショップ、市民アンケートの結果を以下に示します。

| 整備方針 | 地域のニーズ（ワークショップ、市民アンケートの結果） | | |
|--|---|-----------------|---|
| | 大まかな要素 | 具体的な施設ニーズ | |
| | | 公園緑地 | 余熱利用施設 |
| ①子どもたちを育む 1年を通じて子どもたちや家族が気軽に遊べる場 | 遊び ・子どもや孫と遊べる ・レジャー | 芝生広場 屋根付きの広場 | 水遊びができる場 小規模な遊具 大規模遊具 誰もが遊べる場所 |
| ②健康を育む 様々な運動やスポーツ体を動かす場 | 日常的な健康づくり ≠特定のスポーツ競技 ・ウォーキングやランニング ・健康づくり、トレーニング | | ウォーキングやランニングをしやすい園路 |
| ③つながりを育む 多くの人が集まり、楽しめる場 | 落ち着きや開放的な空間、憩いの空間 ・のんびりくつろげる ・開放的な空間 ・食事や休憩 ・勉強・学習 | 芝生広場 屋根付きの広場 | 照明設備 きれいなトイレ カフェ、飲食 休憩施設 ② 駐車場や公共交通の利用手段も重要 |
| ④環境を育む 自然と都市の調和を創出する場 | 自然環境との調和 ・季節感・自然が豊かな ・眺めの良さ | | 樹木や木陰 花や緑であふれる空間 |

- ⇒ 年齢層別に重視する機能が異なることに配慮した、複合的な導入施設の検討が必要
- ⇒ 限られた空間を最大限活用するため、導入機能の取舍選択が必要

アクアプラザ上田からの継承機能の検討

利用実態やアンケート結果から、アクアプラザ上田からの継承機能を検討しました。

| 本事業の整備方針 | 機能継承の方向性（利用実態及びアンケート結果） | |
|--|-------------------------|--|
| <p>①子どもたちを育む 1年を通じて子どもたちや家族が気軽に遊べる場</p> | <p>レジャープールの水遊び機能</p> | <p>◆現状利用に合わせた機能転換（姿形・規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季の賑わい形成や暑熱対策として水遊びの機能は維持 ・プール利用の減少に伴い屋外への機能移転や規模縮小の方向性 <p>◇計画の背景など…</p> <ul style="list-style-type: none"> +レジャープールは夏季を中心に家族連れ利用が活況 +レジャープールの機能拡充を求める意見もあり水遊びニーズは一定数存在 -少子高齢化や遊びの多様化により利用者数が年々減少の状況 -市のプール需要が低調（4割弱）であり、現状以上の施設整備は困難 |
| <p>②健康を育む 様々な運動やスポーツ体を動かす場</p> | <p>健康プール（フィットネス施設）</p> | <p>◆市民の日常的な健康づくりに寄与する施設として継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者層を中心とした市民の日常的な健康づくりを支援 ・プール以外のフィットネス施設についても日常的な運動機会につながる内容として継承の方向性 <p>◇計画の背景など…</p> <ul style="list-style-type: none"> +リピーター層の利用目的として健康づくり（水中歩行）の回答割合が高い（3割～5割） +引き続きあるべき施設としても一定数のニーズが存在（4割程度） -競技活動の場（本格的なスポーツ）としてのニーズは小さい |
| <p>③つながりを育む 多くの人が集まり、楽しめる場</p> | <p>温浴施設</p> | <p>◆世代を問わず幅広く利用できる施設として拡充整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い市民が利用できる通年で集客性の高い施設として拡充の方向性 <p>◇計画の背景など…</p> <ul style="list-style-type: none"> +高齢者層（入浴や健康づくり）を主とした通年/半年券利用者が施設利用者数の下支えとして存在（7～8割程度が通年/半年券利用者） +引き続きあるべき施設として5割強の状況、拡充を求める自由意見も存在 |

⇒ 利用実態を踏まえた機能の選択と拡充、新たな利用者層の獲得につながる代替サービスの導入などが求められる

コンセプト

これまでの検討経過や現在の施設利用状況、地域ニーズ等を踏まえ、本事業のコンセプト（目指す目標像）を、以下のように設定します。

コンセプト

「ふらっと」行きたくなる 健康と賑わいの多世代交流拠点整備

※「ふらっと」…気楽に立ち寄れる、のんびりくつろげる

※「フラット」…平らな ≡誰もが利用しやすい、利用者に優しい、分け隔てない

考え方

- ・ アクアプラザ上田の健康づくり機能に加え、これまでにない新たな機能や地域のニーズを反映した公園緑地を一体的に整備することで、多様な世代が集まる賑わいの拠点を目指します。
- ・ 限られた空間を最大限活用するため、現在のアクアプラザ上田の施設機能については、利用実態に応じた取捨選択を行い、計画地全体が新たな施設としてより一層地域に親しまれることを目指します。

基本方針

整備方針やコンセプトを踏まえ、本事業を推進するにあたっての基本方針（施設整備に際して重視する観点など）を、以下のように設定します。

方針1: 子どもたちに「ふらっと」な施設

- ・子どもに喜ばれ、家族で行きたくなる施設
- ・季節や天候を問わず、幅広い年齢の子どもが気軽に遊べる施設

方針2: 健康に「ふらっと」な施設

- ・屋内外の相互利用により、年間を通じて幅広い市民の健康づくりを支援する施設（屋外のウォーキング/ランニング利用 ⇔ 屋内の健康プールやフィットネス利用）

方針3: 「ふらっと」なつながりを育む施設

- ・利用者の幅を広げる新たなサービスの導入により、多様な市民の「居場所」になる施設
- ・イベントなどの開催を通して、様々な人と人とのつながりを醸成する施設
- ・利用のしやすさに配慮した施設（十分な駐車場の確保、バスの利便性向上）

方針4: 環境に「ふらっと」な施設

- ・花や緑、周辺環境の眺めの活用により、年間を通じて五感で自然を楽しむ施設
- ・地震等の災害時に地域住民が利用できる一時避難所としての機能を持つ施設
- ・将来の負担や市の財政負担軽減に配慮した施設

ゾーニング（導入機能の全体計画）

コンセプト、基本方針等を踏まえた、敷地内のゾーニングを以下に示します。ゾーニングの検討にあたっては、人や車両の安全な通行に配慮した配置パターンを検討しました。

【余熱利用施設】

- ・年間を通じて幅広い市民の健康づくりを支援する屋内プールを施設1階に配置
- ・つながりゾーンには新たなサービスの導入を検討
- ・地震等の災害時の一時避難所としての利用も想定

Point!

- ・主な水遊び機能（レジャー要素）の移転策として、計画地の中心に、親水広場を含む屋内外のこどもの遊び場を配置
- ・屋内外の一体利用により、多様な子どもの興味・学びに応える
⇒子どもに喜ばれ、家族で行きたくなる施設に



- ・駐車場は、見通しの良い西側に配置
- ・十分な駐車台数を確保

エントランスゾーンには、入口広場や車寄せ、バス停など、利用者の出迎えを考慮した施設を導入

- ## 【公園緑地】
- ・緑あふれる芝生広場を中心とした公園緑地を計画地の東側に展開
 - ・イベントなどでの利用も想定

凡例

- : 建物内のゾーニング(1F)
- : 公園緑地のゾーニング
- : 屋内外の一体利用ゾーン
- : その他

周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

02-1) 導入機能など

※以降でお示しする導入機能や配置などは、
今後、計画を具体化する中で変更となる
場合があります。

余熱利用施設の導入機能

※導入機能、内容等は、現時点のイメージです。

基本方針や住民意向等を踏まえた導入機能を以下に示します。

(1) 導入を推進する機能

| 機能 | おおよその内容 | 基本方針との整合 |
|-------------|---|----------|
| 子育て機能 | 子ども広場 | 子ども |
| 健康づくり機能 | 25mプール（7コース） 流水プール（歩行兼用） 幼児用プール、ジェットバス など | 健康 |
| 健康/コミュニティ機能 | 大浴場 | 健康/つながり |
| コミュニティ機能 | 学習・交流スペース | つながり |
| その他機能 | エントランス、管理エリア等 | 環境 |

(2) 今後導入を検討する機能

| 機能 | おおよその内容 | 基本方針との整合 |
|-------------|-------------------|----------|
| 子育て機能 | ウッドデッキ（屋外の屋根付き空間） | 子ども |
| 健康づくり機能 | トレーニングルーム、スタジオ | 健康 |
| 健康/コミュニティ機能 | サウナなど | 健康/つながり |
| コミュニティ機能 | 会議室、和室 | つながり |
| その他機能 | 売店、カフェ | つながり |

周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

平面計画（余熱利用施設）

※導入機能、配置等は、現時点のイメージです。

周辺整備

事業概要

基本計画

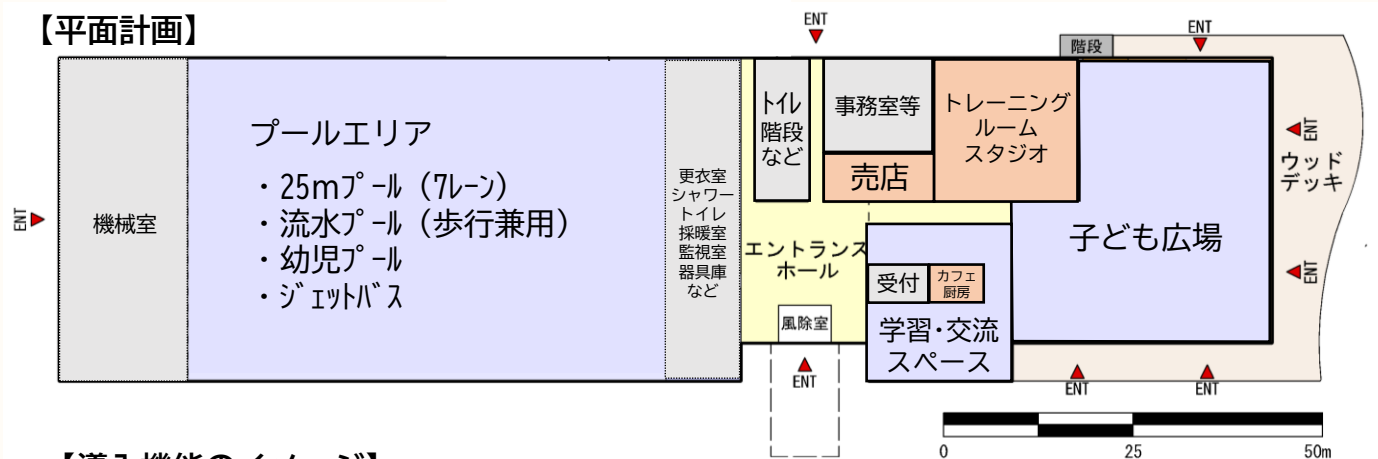
道路整備

スケジュール

1Fプラン

- ・季節や天候を問わず、幅広い年齢の子どもが気軽に遊べ、家族の居場所となる空間として、屋内の子ども広場を計画します。
- ・プールエリアは、健康づくりに着目した拡充として、25mプールの他、流水プール（歩行兼用）を計画します。※25mプールは将来的な小中学校の授業利用も想定
- ・新たな機能として、小中高生などの利用を想定した学習・交流スペースを計画します。

【平面計画】



【導入機能のイメージ】



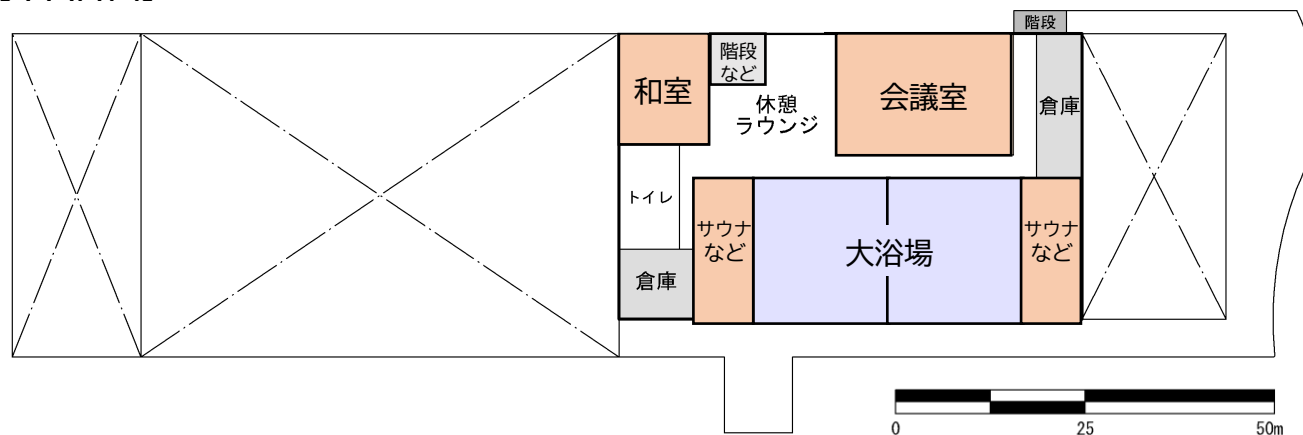
平面計画（余熱利用施設）

※導入機能、配置等は、現時点のイメージです。

2Fプラン

- ・ 世代を問わず幅広く利用できる施設として、大浴場を計画します。
- ・ 新たなサービスとして、ニーズの大きいサウナなどの導入を検討します。
- ・ コミュニティ機能、憩いの空間として、会議室、和室の導入を検討します。導入にあたっては、隣接予定の資源循環型施設との機能のすみ分けに配慮します。
- ・ プライバシーに配慮し、温浴施設や会議室は2階への配置を検討します。

【平面計画】



周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

公園緑地の導入機能

※導入機能、内容等は、現時点のイメージです。

周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

整備方針や住民意向等を踏まえた導入機能を以下に示します。

(1) 導入を推進する機能

| 機能 | おおよその内容 | | 基本方針との整合 |
|------|---------|---------------------|----------|
| 公園機能 | 親水施設 | 親水広場 | 子ども |
| | 遊戯施設 | 幼児遊具、児童遊具 | 子ども |
| | 園路施設 | 園路（ウォーキング・ランニングコース） | 健康 |
| | 広場施設 | 芝生広場 | つながり |
| | 休養施設 | ベンチ、四阿（災害時の利用も想定） | つながり |
| | 便益施設 | トイレ（備蓄庫兼）、手洗い場、水飲場 | 環境 |
| | 管理施設 | 照明、掲示板、門、柵 | 環境 |
| | その他施設 | 雨水貯留槽、耐震性貯水槽など | 環境 |

(2) 駐車場計画

| 項目 | 内容 | 合計（臨時分を含む） |
|------|-----------------|------------|
| 普通車 | 249台 | 254台 |
| 身障者用 | 5台 | |
| 大型車 | ※資源循環型施設の駐車場に対応 | |

※自転車でのアクセスも想定し、収容台数40台程度の駐輪場も配置予定

平面計画（公園緑地）

※導入機能、配置等は、現時点のイメージです。

- ・ 広大な芝生広場を中心に、多様な遊びを選択できる空間を計画
- ・ 屋内の子育て機能と屋外の公園機能の融合により、多様な遊びと利便性に配慮

土地の有効利用、安全性の確保、営農環境の維持などを考え、用水路の付替えを検討

- ・ 屋内外の一体利用により、雨天を含め親子連れが利用しやすい環境を整備
- ・ 屋外には未就学児も利用できる遊具やレジャー噴水などを導入



- ・ 芝生広場を中心として、様々な遊びにアクセス
- ・ イベントの開催などを通して、交流を創出



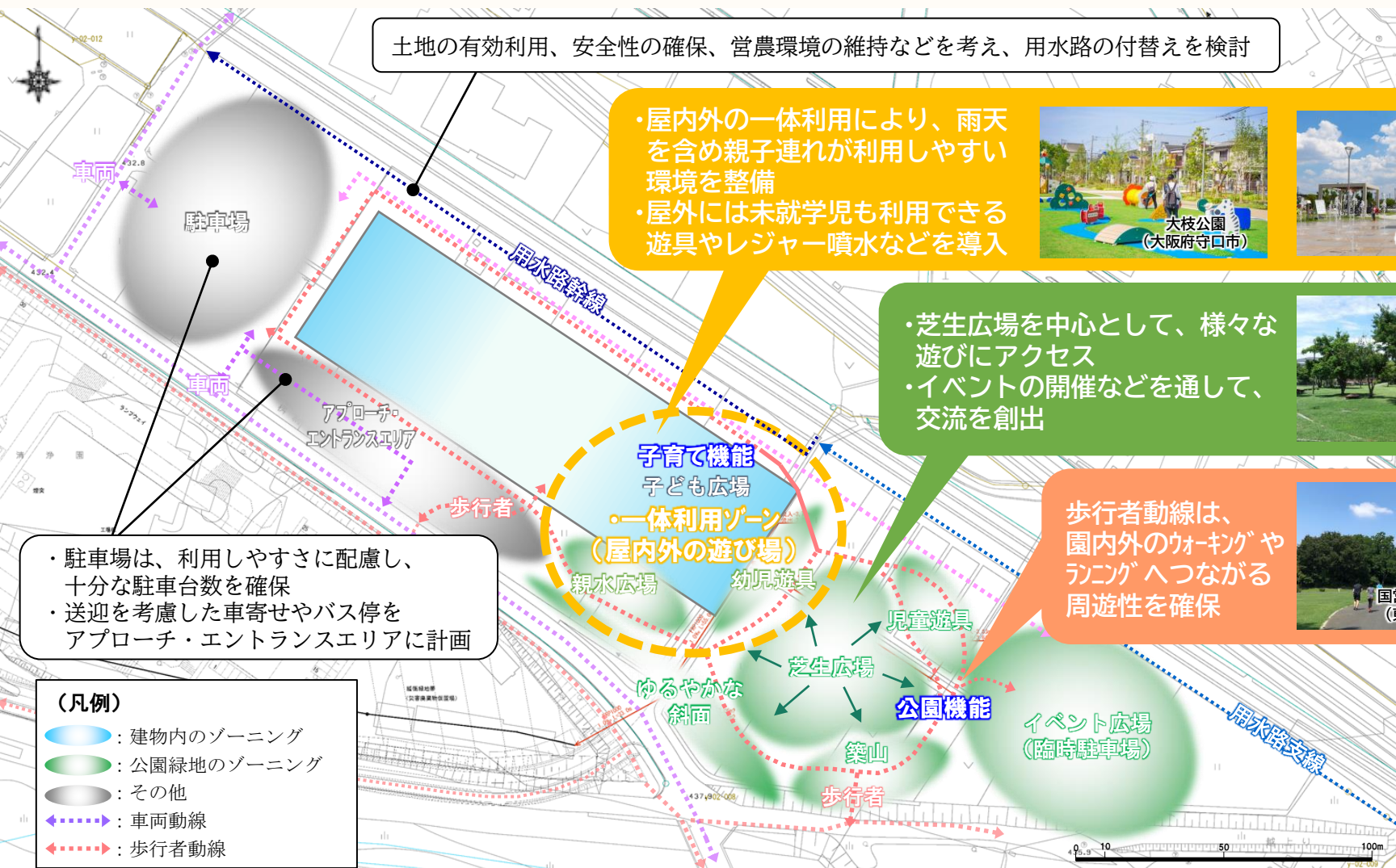
- ・ 歩行者動線は、園内外のウォーキングやランニングへつながる周遊性を確保



- ・ 駐車場は、利用しやすさに配慮し、十分な駐車台数を確保
- ・ 送迎を考慮した車寄せやバス停をアプローチ・エントランスエリアに計画

(凡例)

- : 建物内のゾーニング
- : 公園緑地のゾーニング
- : その他
- : 車両動線
- : 歩行者動線



02-2) 今後に向けて

よりよい施設づくりに向けて

公共事業としての公平性や安定性を担保しつつ、事業コストの削減と質の高い公共サービスの提供につながるよう検討を進めてまいります。

従来方式

公共

- 事業の継続性が高い
- △ ノウハウの不足による非効率な運営、サービスの硬直化

官民連携

公共

+

民間



(官民連携により期待される効果)

- 民間の高い技術力を生かした良質な公共サービスの提供
- 一括発注による事業コストの削減
- 民間事業者の創意工夫による収入の増加
- 地域経済の活性化（新たな事業機会や雇用の創出）

そこで重要になるのが

Point!

民間事業者との対話

公共の目的と事業の枠組みを明示し、民間の参画意欲や事業の課題などを把握する。



民間事業者との対話などを通して、サービスの向上やコスト削減につながると判断されるものについては、本計画に反映し、よりよい施設づくりに努めてまいります。

周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

Agenda

- ① 周辺整備事業
- ② 搬出入道路整備事業**
- ③ スケジュール(案)

搬出入ルート

搬出入ルート

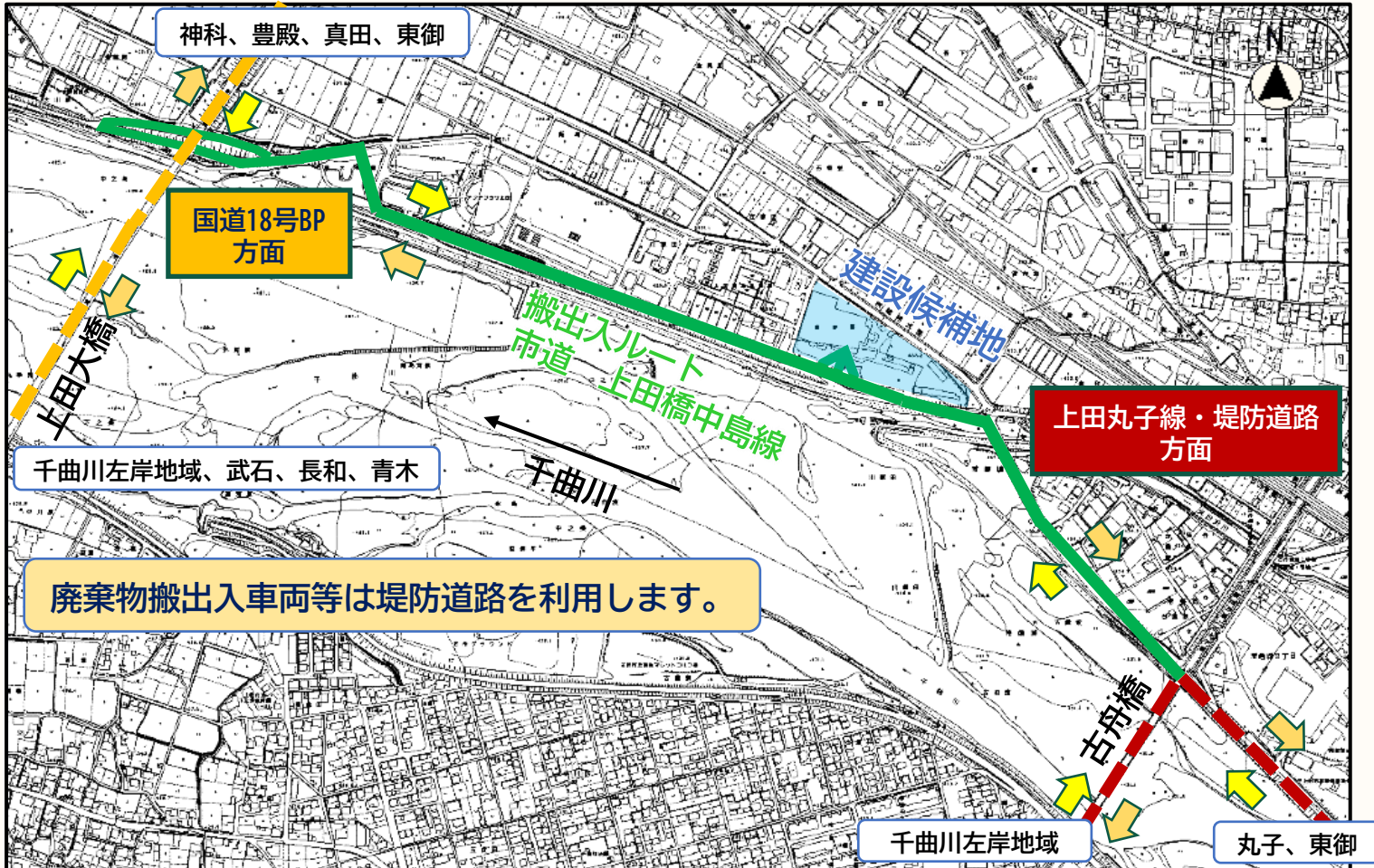
周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

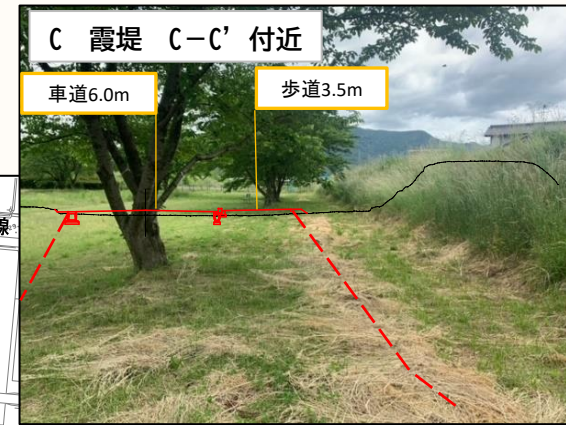
スケジュール



周辺道路整備 計画平面図

概略 計画平面図

注)概略図のため、今後、予定しています測量、詳細設計、関係機関との協議により、変更になります。



【A 北詰交差点】

出会頭の事故が多い

- ⇒ 外側線等の見直し
- ・スムーズな曲がりが可能となる様、改良を行う (一部拡幅)

【上塩尻8号線】

利用状況及び交通安全等を総合的に考え、堤防への自動車、バイクの乗入れ不可とする

【C 霞堤道路】

道路の幅が狭い

- ⇒ 北詰から市道常磐城上塩尻線が主交通となる様、また、狭隘箇所の解消のため、河川内に道路を新設する
- * 既設道路は、管理道路等として利用
- ・ 欠口用水施設の機能回復
- * 余水吐き水門の移設

地下埋設物、既存構造物が点在するため、今後の詳細設計、測量等により、道路線形を見直す場合があります。

【B 北詰カーブ】

曲がり角が鋭角、道路の幅が狭い

- ⇒ 外側線等の見直し
- ・スムーズな曲がりが可能となる様、改良を行う (一部拡幅)

歩道

車道

周辺道路整備 計画平面図

概略 計画平面図

注) 概略図のため、今後、予定しています測量、詳細設計、関係機関との協議により、変更になります。

【F 古舟橋交差点】
事故が多い、北側からの右折困難
⇒ ・北側からの収集運搬車の回避を検討
*警察 県道上田丸子線側
右折レーン設置を検討

【秋和堤防線】
利用状況及び交通安全等を総合的に考え、堤防への自動車、バイクの乗入れ不可とする。

【D 堤防道路】
道路の幅が狭い、水害対策を含む検討
⇒ ・道路を拡幅し、河川側に自歩道を設置する
・欠口用水施設の改修

【E 堤防道路交差点】
見通しが悪い
⇒ ・市道常磐城上塩尻線と直角交差とする

歩道

車道

周辺道路整備 標準断面図

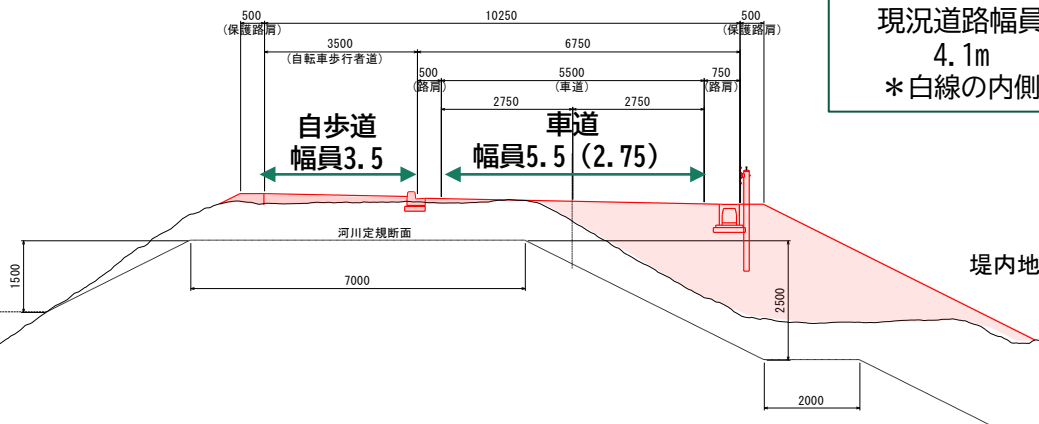
標準断面図

D 建設候補地南側 堤防道路

現況 黒
計画 赤

堤外地 河川内

H.W.L. (千曲川管内図より)

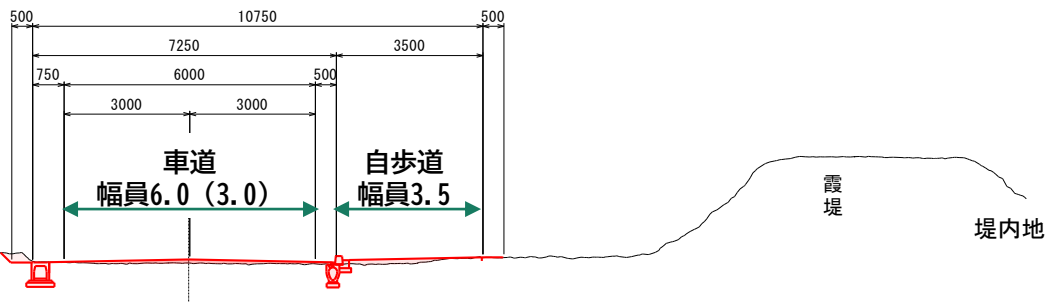


現況道路幅員
4.1m
*白線の内側

C 霞堤 C-C' 付近

現況 黒
計画 赤

堤外地 河川内



Agenda

- ① 周辺整備事業
- ② 搬出入道路整備事業
- ③ スケジュール(案)

スケジュール(案)

| 年度 | | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 |
|------|----------------------------|--------|----|------|-------------|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 項目 | | | | | | | | | | | |
| 周辺整備 | 資源循環型施設整備 | 環境影響評価 | | | 業者選定・設計・建設等 | | | | | | |
| | 整備方針 | 済 | | | | | | | | | |
| | 住民ニーズ把握 (ワークショップ、アンケート) | | 済 | | | | | | | | |
| | 基本計画 パブリックコメント | | | パブコメ | | | | | | | |
| | 調査・測量等 | | | | | | | | | | |
| | 用地交渉等 | | | | | | | | | | |
| | 設計 | | | | | | | | | | |
| | 業者選定・施設建設 | | | | | | | | | | |
| 道路整備 | 調査・測量等 | | | | | | | | | | |
| | 設計 | | | | | | | | | | |
| | 用地交渉等 | | | | | | | | | | |
| | 工事 | | | | | | | | | | |

周辺整備

事業概要

基本計画

道路整備

スケジュール

ご清聴ありがとうございました

上田市 環境部 資源循環型施設建設関連事業課

〒386-0027 上田市常磐城2320番地 清浄園2階

TEL : (0268) 71-8082 FAX (0268) 71-7910

E-mail : junkan@city.ueda.nagano.jp